



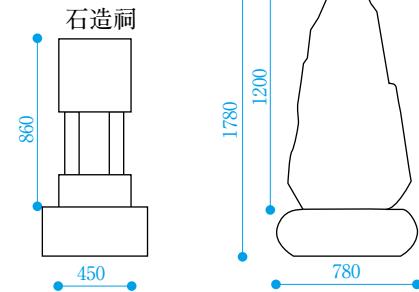
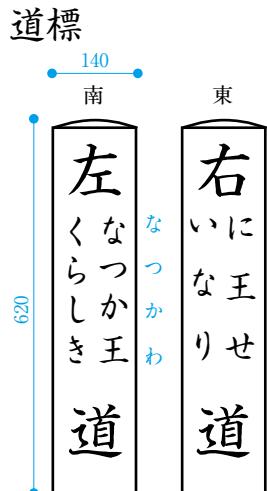
64毘沙門天・道標

(平野23-1隣)



自然石の台上に、毘沙門の線彫りの碑(高さ178cm×幅78cm)がある。隣の自然石台上に石造祠があり、その左側に瓦製祠が並んでいる(七福神)。岡豊前守が足守川の築堤をした一期工事の南端といわれている。

道の角には道標があり、堤防修築の時(1624年)その記念碑として建てられたと思われる。足守川堤防修築に伴い設置場所は多少の移動があるが、本体は元のままで地元民に篤く祀られている。



足守堤防から庭瀬へ通ずる三叉路で浜という処にある。この浜は藩政時代の港にして、船路によって上陸した旅人のために建造されたものである。ここには他藩の蔵米の役所が置かれて年貢米を上方に船積みしていた港でもあった。

きびのさとNo.83より